

科目名		基礎デザイン実習C							年度	2024	
英語科目名		Basic Design Practice C							学期	前期	
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 1 年次			必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	角田光代 / 飯田裕樹			教員の実務経験		有	実務経験の職種		インテリアデザイナー		
【科目の目的】											
目的 1：形態、素材、色彩、構造に触れ、平面構成力を身につける。インテリアデザイン・コーディネートをする上での、色彩パランス、美的構想力を養う。											
目的 2：自身の好きなイメージについて掘り下げると同時に、他者の発表を通じて新たな発見を促す。質の高いインプットを促し、分析する眼を養う。デザインの基礎的なアプローチ、手法に挑戦し、難しさ、奥深さに触れる。手を動かしながら考えることを学ぶ。											
【科目の概要】											
概要 1：スケッチとパース図の作図（描き方・着色）色彩計画（カラスキム）など、複数の課題を通して表現技法を身につけ、段階的に到達レベルを上げる。											
概要 2：視覚的なイメージ、素材、インテリアデザイン、建築デザインに触れ、自分の好きなデザインを探し、分析する。基礎的で抽象的なデザインに挑戦する。											
【到達目標】											
到達目標 A：図面を読み取り、パース図に描き起こせられる											
到達目標 B：質感や陰影を出すために、濃淡、光沢などで立体感ある着色ができる											
到達目標 C：視覚的なイメージ、素材、デザインを分析・調査ができる											
到達目標 D：平面構成・立体造形の手法にて、イメージを形にできる											
到達目標 E：調査や自身の取り組みを他者にわかりやすく伝えることができる											
【授業の注意点】											
授業時間内で、作図の仕方や着色方法を学び、毎授業ごとに課題を仕上げる。道具の扱い・管理には注意を払うこと。欠席等により課題が出せなかった場合は、翌週までに仕上げ、提出すること。											
全ての課題を提出しなければ、合格とならない。また授業時数の4分3以上出席しない者は合格することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標 A	空間の特徴を細部まで捉えて描けている			空間の特徴をおおむね捉えて描けている			空間の特徴が書けていない				
到達目標 B	質感・陰影を理解し、細部まで立体感ある着色ができている			質感・陰影を理解し、おおむね立体感ある着色ができている			質感・陰影の理解が足らず、立体感ある着色ができていない				
到達目標 C	視覚的な情報を詳細に分析・調査できている			視覚的な情報をおおむね分析・調査できている			視覚的な情報を分析・調査できていない				
到達目標 D	平面構成・立体造形の手法でイメージを細部まで形にできる			平面構成・立体造形の手法でイメージをおおむね形にできる			平面構成・立体造形の手法でイメージを形にできていない				
到達目標 E	調査事項、制作物について、他者にわかりやすく説明ができる			調査事項、制作物について、他者におおむね説明ができる			調査事項、制作物について、他者に説明ができていない				
【教科書】											
やさしく学ぶインテリア製図											
【参考資料】											
雑誌CONFORT2021年7月増刊素材・建材ハンドブック、CONFORT No175(素材に帰ろう)、187(白と素)											
【成績の評価方法・評価基準】											
課題成果物	60%	提出課題完成度を総合的に評価する									
習熟度	20%	段階的に必要な技量の習得、適切な道具の選定									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度による評価									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		基礎デザイン実習C				年度	2024
英語表記		Basic Design Practice C				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	表現技法の基礎	表現技法を学ぶには		ガイダンス	授業の流れを理解している	2	
				インテリア家具を描く	インテリア家具の形を捉えられる		
2	分析・調査	デザインを分析・調査する		業界説明	インテリア業界を理解している	2	
				デザイン探し	「好きなデザイン」を分析・調査することができる		
3	表現技法の基礎	着色のポイントを掴む		素材感・陰影の理解	家具の素材感や陰影を理解して表現できる	2	
				濃淡、光沢を表現	家具へ濃淡、光沢を出した着色ができる		
4	分析・調査	他者に伝えられ、他者から学ぶこと		発表	「好きなデザイン」を他者に伝える発表ができる	2	
				デザイン探し	好きな空間デザイン・デザイナーを調査できる		
5	表現技法の基礎	着色のポイントを掴む		素材感・陰影の理解	樹木の質感や陰影を理解して表現できる	2	
				濃淡、光沢を表現	樹木の濃淡・光沢を出した着色ができる		
6	分析・調査	デザインを分析・調査する		発表	「好きな空間デザイン・デザイナー」を発表できる	2	
				デザイン探し	「好きな素材」を分析・調査することができる		
7	表現技法の基礎	1消点パースの描き方		1消点パースの理解	図面を読みとり、立体視できる	2	
				1消点パースを描く	視点と遠近法を理解して作図できる		
8	分析・調査	他者に伝えられ、他者から学ぶこと		発表	「好きな素材」を発表することができる	2	
				デザイン探し	「残念な空間」を分析・調査することができる		
9	表現技法の基礎	1消点パースの描き方		家具を描く	箱型作図から家具らしい形に描くことができる	2	
				空間・家具に着色	素材感・陰影を表現した着色ができる		
10	分析・調査	他者に伝えられ、他者から学ぶこと		発表	「残念な空間」を発表することができる	2	
				デザイン探し	「並べる」を分析・調査することができる		
11	表現技法の応用	2消点パースの描き方		2消点パースの理解	図面を読みとり、立体視できる	2	
				2消点パースを描く	視点と遠近法を理解して作図できる		
12	表現技法の応用	2消点パースの描き方		家具を描く	箱型作図から家具らしい形に描くことができる	2	
				空間・家具に着色	素材感・陰影を表現した着色ができる		
13	表現技法のまとめ	“オリジナルで1消点パースを描く”		空間を描く	店舗のファサードを1消点で描くことができる	2	
				着色をする	素材感・陰影を表現した着色ができる		
14	分析・調査から制作	他者に伝えられ、他者から学ぶこと		立体造形。平面構成	「並べる」を自身で制作できる	2	
				発表	「並べる」を他者に伝えることができる		
15	分析・調査から制作	他者に伝えられ、他者から学ぶこと		探す	「壁・柱・天井」欠けていても空間をなす。を探す	2	
				発表	「壁・柱・天井」欠けていても空間をなす。を発表する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等